

★★ The Future We Want

Name: 日高美朝

Age: 11

Date: 5月6日

私は、地球に住む人間、つまり地球市民としての私たちが自然に親しむためには、どうしたらよいかということについて三つの提案をします。

まず、一日は自然を身近に感じる事ができる行動を走りこすということです。そのことによって自然を破壊する開発がされにくくなると思います。例えば、自然に恵まれている場所の所有者の方がいるとしたら、普段歩く時にも小川の魚や道端にある花や木々などを意識的に見たり、ふれあったりすることで自然を身近に感じ大切にしながらはいけないと思うようになり、まず自分の持つ土地の自然を愛します。次に、その自然を見て育った子どもや若者は自然に親

★★

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

みやすくなリ、自然を味わい、愛しやすくなリます。そしてこのように自然を愛することかできる土地の所有者は自然を破壊するような開発の知らせがきても断あるのて、若い世代が子どもを産む時代まで自然が残リ、親となつた世代が子どもといふように自然とふれあい愛します。大人は再び自然の大切さ、重要さに気がつき、子孫代々として自然を大切にすることを教え続けたとすれば、いつまでも、自然を愛することを忘れないでしよう。

二つ目は自然と人間が共存できるかぎり、身近になる木や草といった自然資源を使うということです。今までは輸入したり、他の地域の竹を使っていた、竹の製品を作る工場て地元産の竹を使用することにし、竹の産地もパッケージに書いて売つたらどうでしよう。地域活性化にも役立つことになるとおもいます。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

三つ目は実<sup>タ</sup>祭<sup>リ</sup>に自然の中に入るこ<sup>ト</sup>によ<sup>ッ</sup>て、改善点を発見し、行動すること<sup>デ</sup>、よりよい自然をづくりをするということです。例えば地域の環境ボランティアのAさんは、手入れしきれ<sup>テ</sup>いな<sup>い</sup>森林を見たこ<sup>ト</sup>に地球市民の立場で間伐<sup>ヲ</sup>をしてみました。すると、日当たりがよくな<sup>ッ</sup>たのか森林の木はすくすくと育ち森林の豊<sup>カ</sup>さを見つ<sup>ケ</sup>ることができました。そして自然を味<sup>ウ</sup>い、愛<sup>ス</sup>ることができたのです。

このように、自然を身近に感じられる行動をしたり、自然と人間が共存できる限り身近な自然の資源を使<sup>ッ</sup>たり、自然に触れ、改善点を発見し、よりよい地球環境にするということが大切だと思<sup>ヒ</sup>います。行動するのは難しいこと<sup>ト</sup>かもしか<sup>ニ</sup>ないけれど、少<sup>シ</sup>しかつ工夫をこらしてや<sup>ッ</sup>てみよう<sup>ト</sup>することが大切だと思<sup>ヒ</sup>います。この三つ<sup>ノ</sup>ことをや<sup>ッ</sup>ていくこ<sup>ト</sup>で私たちは、望<sup>ム</sup>未来を創<sup>リ</sup>、てい<sup>ク</sup>るのだと思<sup>ヒ</sup>います。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

よりよい環境をつくるには、自然  
に親しむという活動をした上で、自分の  
頭で、理想の姿を描き、現在の姿がそれ  
とはどう違うかを考え理想の姿を目指  
して行動していただくことが大切なのです。